

事務事業名	介護保険特別会計 介護保険料賦課徴収業務				会計	介護保険		事業種別	政策	開始	12	終了	
H27担当課等名	長寿支援課		H27係等名	介護保険係	H26係等名		介護保険係						
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり				施策	35	高齢者福祉の推進				
目的	対象(誰・何を)	介護保険の被保険者				対象指標	指標名及び単位		26年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	介護保険被保険者証の交付、介護保険料の賦課を適正に行うことにより安定した制度運営を確保し、高齢者が安心して暮らすことが出来る					被保険者数(人)		31072				
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合					介護保険料特別徴収対象者(人)		29009				
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)				
	成果指標	被保険者証交付者数/被保険者対象者数			100	100	100	100					
	成果指標	お知らせ通知発送数/平準化対象者			—	—	100	—					
	定性目標												
事業概要	<p>介護保険の被保険者は、飯田市に在住する満65歳以上の高齢者。 被保険者の対象者を的確に把握し、被保険者証を交付するとともに介護保険料を賦課する。 転出者・死亡者等は被保険者から外れるため、介護保険料を精算し、還付等の手続きを行なう。 保険料の徴収は、特別徴収(年金からの天引)が約9割あり、残りが普通徴収であるが、普通徴収の収納業務は納税課で担当している。</p>												
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標				
	65歳年齢到達者・65歳以上の転入者等の資格取得者を把握し、被保険者証の交付及び介護保険料の賦課を行う。 転出者・死亡者等の資格喪失者を把握し、介護保険料の精算を行う。 被保険者全員に対して、介護保険料の納付書又は特別徴収通知書を交付する。				介護保険被保険者数(人) 特別徴収対象者数(人)				31,072 29,009				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①		9,271	11,308	9,726	13,333								
国庫支出金													
県支出金													
起債													
その他													
一般財源		9,271	11,308	9,726	13,333								
人件費計(千円)②		5,722		5,722									
正規職員所要時間		1,600		1,600									
臨時職員所要時間													
総事業費①+②		14,993	11,308	15,448	13,333								
事業内容・目標達成状況の振り返り	資格取得者及び資格喪失者の抽出においては適正な把握を行うことで当初予算額のとりの保険料を徴収することができた。また、平成26年1月より延滞金について改正があったが、改正内容に対して他課と連携を取ることで正確な文書を作成し、納付書発送時において説明文書を同封することで被保険者にとって分かりやすい賦課を行うことが出来た。												
改革改善の考え方	①問題点	納付書発送時、年数件、宛名不明で返送されてしまう納付書がある。この納付書に対しては公示送達を行っている。しかし、正確・適切な賦課を行うには、居住実態をしっかりと調査・確認・把握した上で公示送達を検討する必要がある。											
	②改革提案	・市民課、納税課等の関係課や介護保険施設との連携により把握する。 ・返送された納付書住所に実際に訪問し、実態把握を行う。											